

言心先生の「中国便り」

若者の欲望

去年の年末頃、ある媒体がアジアの十カ国の2000人の若者にアンケート調査をした。調査は主に各国青年の職業・生活・婚姻等の問題について質問したものである。

第一問は「何のために仕事をするのか」である。九カ国の若者の第一の選択は、「日常生活の為」で、日本では64・5%、シンガポールでは57%、マレーシアでは56・5%であった。唯一別の選択が最も多く選ばれた国は中国である。中国の若者の36%は「自分の豊かさの為」という選択を選び、「日常生活の為」は、二番目に多い選択で、約30・5%の人が選んだ。

中国のある媒体は、中国の若者の選択は「世界を驚かせた」という論評をした。今の中国の高速の経済発展に対して、中国の若者の欲望と向上心は異常に強い。

中国の若者は大卒後、就職して数年間仕事をし、三十歳前後で結婚するのが一般的である。男性の方の第一の難関は、家と車を持つことである。もし持たなければ相手の女性は、直ぐに離れてしま

う。そのため、結婚する為の資金を親と親戚から援助され、あるいは借金して、住宅と車を購入するのである。当然、中国の若者の生活にかかる圧力は他の国の若者より強いのである。

最近、中国の媒体に有名企業のエリート急死に関するニュースが時々見られる。ある名門の清華大学の卒業生は、三十代の後半の若さにして、急死した。彼の家族は彼の死の原因を調べ、彼の残業の多さに驚いた。最近、「過労死」と言う言葉が中国で常用語になった。この背景には、今の中国の若者は金銭に対して異常な欲望を持ち、自分の健康と生活のゆとりを犠牲にして、目標に到達する前に力尽きてしまうということがある。

悲劇を避けるため、まず自分の大きすぎる欲望を捨てるのが、最も大切なことではなからうか。

